

ごあいさつ

楯山小学校のホームページを訪れていただき、ありがとうございます。

山形市立楯山小学校は、今年で126周年を迎える、地域に愛されてきた学校です。学校だよりの「よつば」は、現在の主要な学区である「風間」「十文字」「青柳」「新開」4地域の協和の象徴であり、「遺跡と泉の里」と称えられたこの地は、野呂川や高瀬川がもたらす豊かな水の恵みと、縄文・弥生時代からの信仰や生活の営みが今に続く地域でもあります。

また、現在は、大岡山や高瀬川、田園と果樹園に囲まれた自然豊かな美しい自然環境と、山形・天童を結ぶバイパスや高速道路のインターチェンジ、県立中央病院や医療大学を学区内に持ち、山形市流通団地や立谷川工業団地に隣接する工業・流通・医療などの要の役割を併せ持つ地域として発展を続けています。近年、新しい道路も開通し、楯山地区の今後の更なる発展が期待できるものと思われます。

令和8年度は、新入生23名を加え全校児童148名、教職員22名でスタートしました。学校教育目標「いのち、夢、なかまをつなぐ子どもの育成」のもと、「たくましく元気な子ども」、「学びに向かう子ども」、「やさしく思いやりのある子ども」の姿をめざして、教育活動を進めて参ります。

楯山小学校では、「すべての子どもを全職員で」をモットーに教職員一同、子どもたちと向き合っていきます。しかし、子どもたちの健やかな成長のためには、保護者の方々、地域の皆様のお力が欠かせません。学校・家庭・地域が互いに連携し、支え合いながら共に育んで参りたいと思っております。

今後も本校教育へのご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

山形市立楯山小学校
校長 芦野あずさ